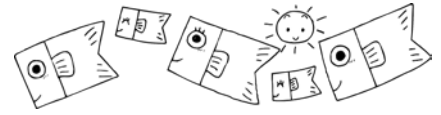




# えんだより



2024年5月

認定こども園カトリック吉野幼稚園

主 題：「共に生きる」

聖書のことば：「あなたの父と母を敬いなさい」（エフェソの信徒への手紙）

園庭のフジの花をはじめ、ツツジやバラなどいろいろな花が咲き誇る5月となりました。人の世は、いろいろな出来事が起こり、先行きに不安を感じることも多いですが、自然のなりわいや季節は着実に進んでいます。

幼稚園に4月に入園してきた新入園児の子どもたちも、すこしずつ園生活に慣れてきたように思います。登園してきて、最初に会ったら、一人一人しっかりした挨拶を交わしてくれるようになりました。挨拶は「**人間関係の基本**」と言われています。今後とも大切にしたいと思っています。

また、登園してきた園児たちは保育室の廊下で、身支度をします。そのとき、Aクラス（年長児）さんがCクラス（年少児）さんにいろいろなことを教えています。それは、口で言うだけではなく、実際にやって見せているのです。自分の耳で聞いて、自分の目を見て、そして同じように自分がしてみる、という一連の流れが、いろいろなことができるようになることにつながっていると思います。このとき、「自分で考える」ということが大事だと思います。このようなことから、子どもたちの成長にあたって、年齢の違う子どもたちでひとつのクラスを作っている縦割り保育の良さがみられるものです。

5月のカトリック教会では、イエス・キリストの復活後、40日目にイエスが天に昇られた「主の昇天」を、そしてその10日後に聖霊がイエスの弟子たちや聖母マリアの上に注がれた「聖霊降臨」をお祝いします。また、カトリック教会では5月を「聖母の月」と呼び、多くのカトリック系の学校や幼稚園などで聖母行列などを行ってマリア様を賛美し、感謝の気持ちを表します。本園では、「マリア祭」を10月にしています。

園の教育と、家庭での教育が一体となって、すばらしい御子を育ててまいりましょう。

【園長 野田弘之】

5月のねらい

- A グループ・母の日の感謝の気持ちを持つ。遊びや生活の中でイメージを膨らませ、様々な表現を楽しむ。
- B グループ・戸外でのびのびと体を動かしたり、身近な自然に興味を持って関わることを楽しむ。
- C グループ・園の道具や遊具に興味を持ち、扱い方を知りながら保育者と一緒に遊びを楽しむ。
- D グループ（つぼみ）保育者に見守られて安心して過ごし、生活や環境に慣れる。